

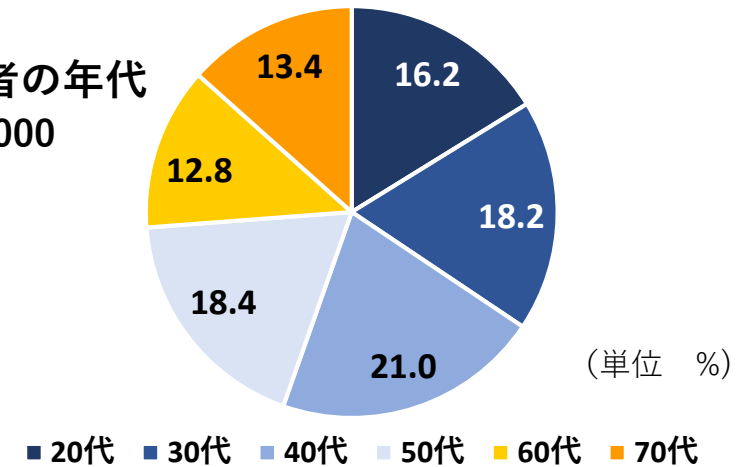
# 東京i CDCリスコミチームによる ワクチン接種に関する都民アンケート調査 結果

別紙

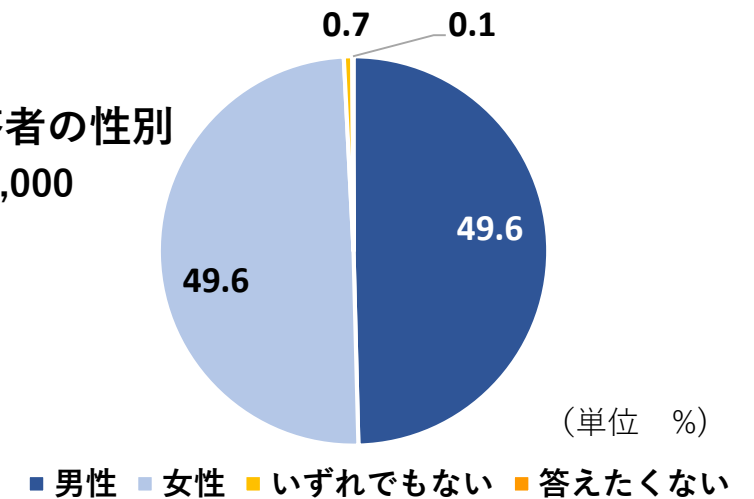
2021. 8. 26.

- **調査方法**：インターネット調査
- **調査対象**：東京都に住所を有する20代から70代までの者
- **サンプリング方法およびサンプル数**：  
性・年齢構成を東京都の人口比率に合わせた割当抽出。  
1,000 サンプル。
- **調査期間**：2021年7月16日～同年7月17日  
(第4回緊急事態宣言期間中)
- **調査項目**：
  - ✓ ワクチン接種意向
  - ✓ 「接種しない」「わからない」 → その理由は
  - ✓ 「接種する(した)」「わからない」 → 接種後の行動は
  - ✓ ワクチン接種に関する考え方(自己決定権、インセンティブなど)
  - ✓ 現時点での感染予防策の取組状況

回答者の年代  
n=1,000



回答者の性別  
n=1,000

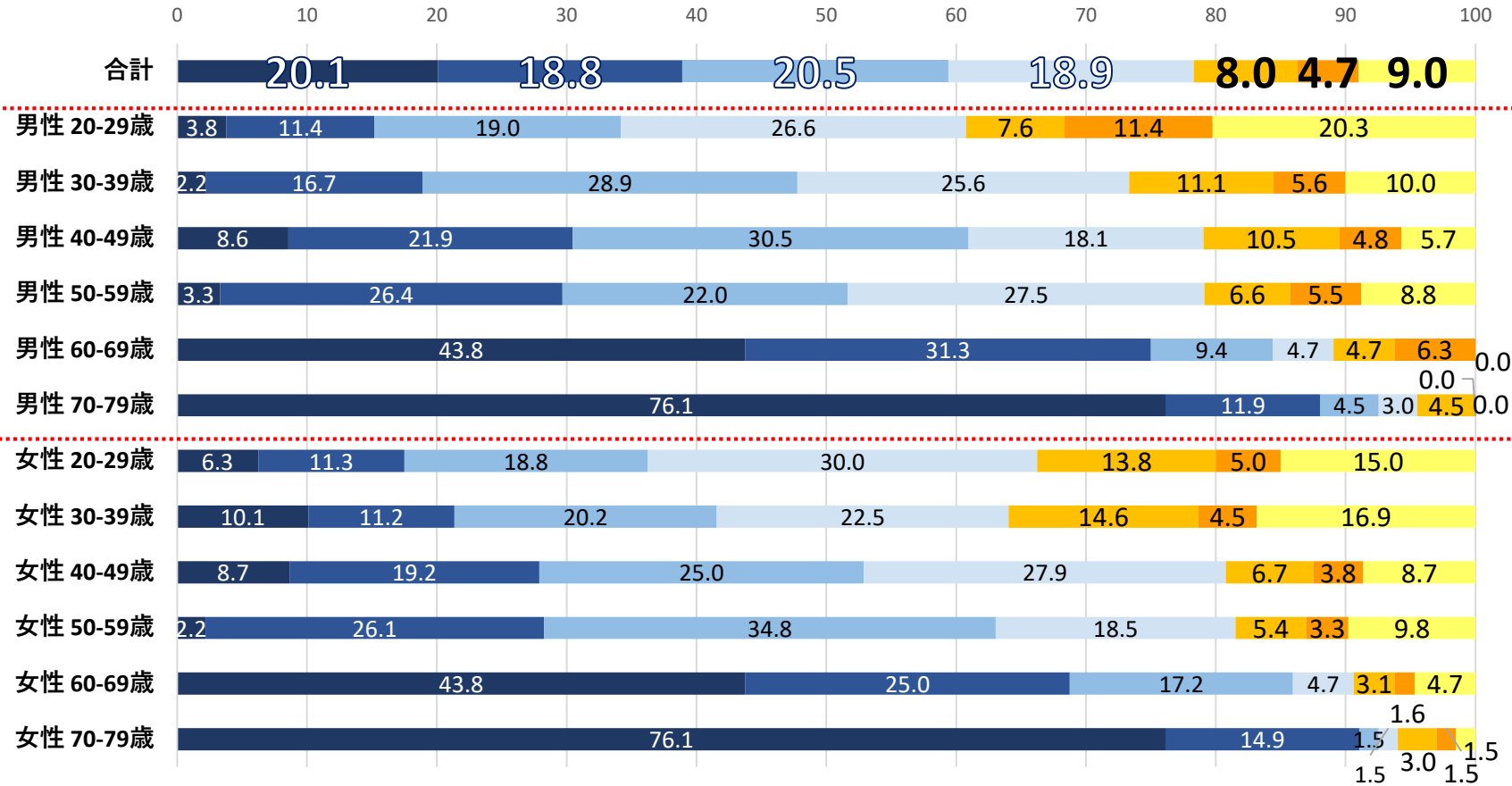


# Q1 あなたは、新型コロナワクチンの接種を受けようと思いますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

■すでに2回接種した ■すでに1回接種した ■必ず接種する ■おそらく接種する ■おそらく接種しない ■絶対に接種しない ■わからない

(n=1,000)

(単位 %)



参考：都内ワクチン接種率※

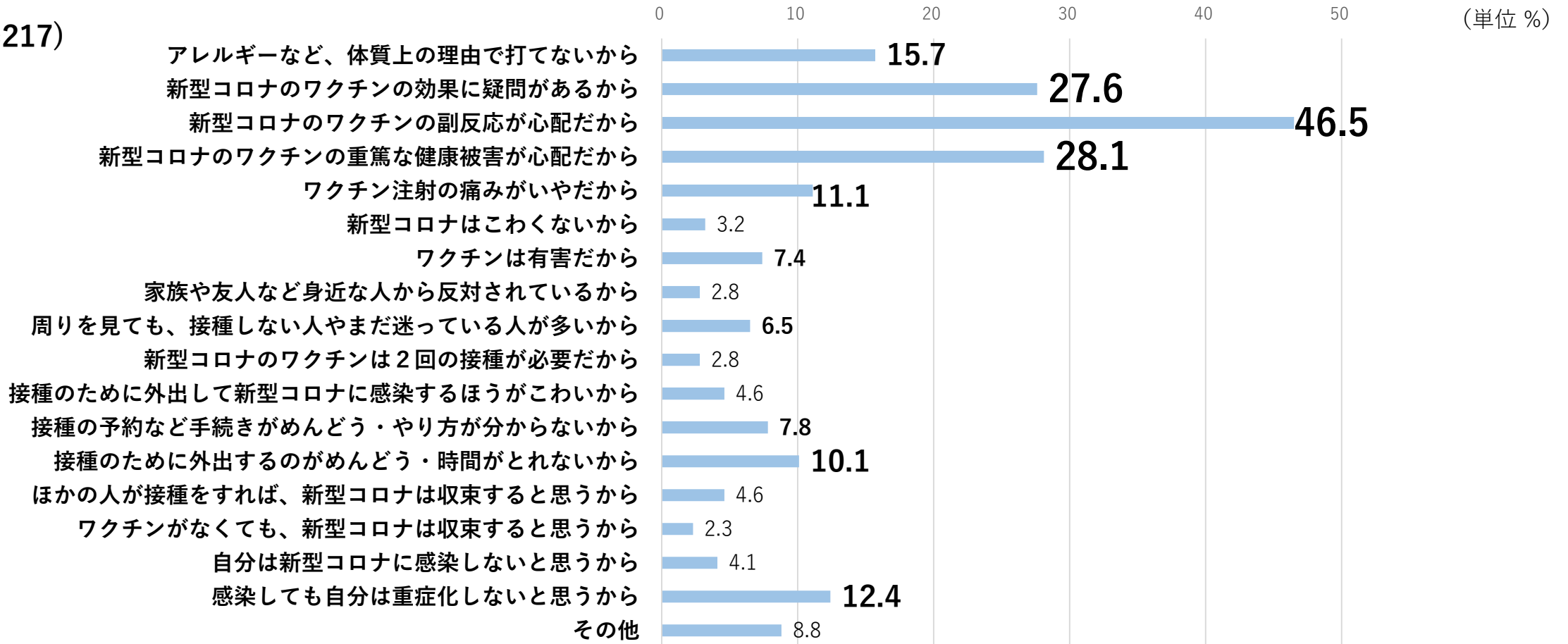
	接種1回目 (累計)	接種2回目 (累計)
7月16日	36.8%	21.6%
7月17日	37.4%	22.0%

※接種対象年齢である12歳以上人口に占める割合

- ◆ 年代が上がるにつれて接種意欲は高くなっており、接種を済ませたひと増える。40代50代では男女ともに、接種経験と接種意欲のある人々が8割にのぼる。
- ◆ 20代30代では男女ともに、他年代と比べると「接種しない」「わからない」の回答が多いが、接種経験と接種意欲のある人々が60～75%程度いる。
- ◆ 年代、性別に対応しながら、ワクチン接種に関する意思決定を支援するための情報発信やしきみ、接種の環境を充実させることが必要。

## Q2 新型コロナワクチン：「接種しない」「わからない」→ その理由は何ですか（全世代）（あてはまるものをすべて）

(n=217)

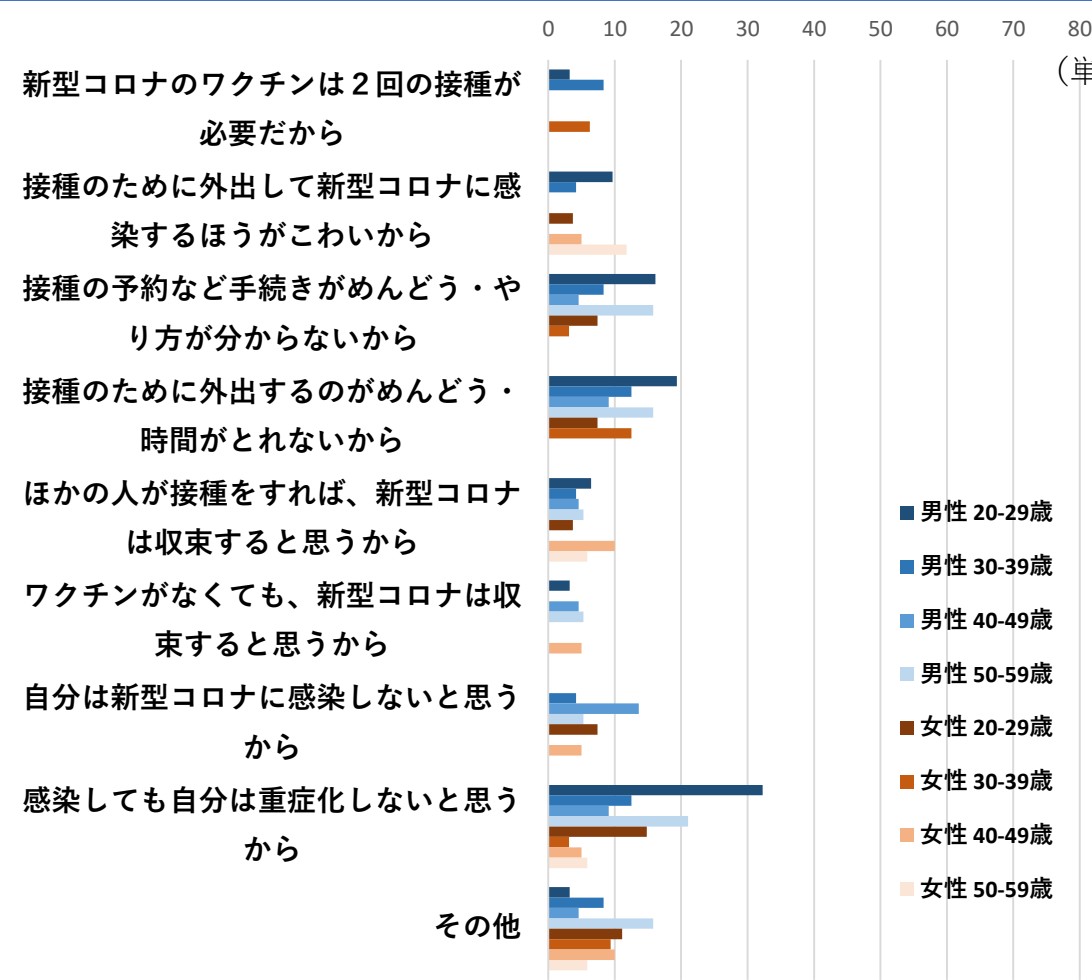
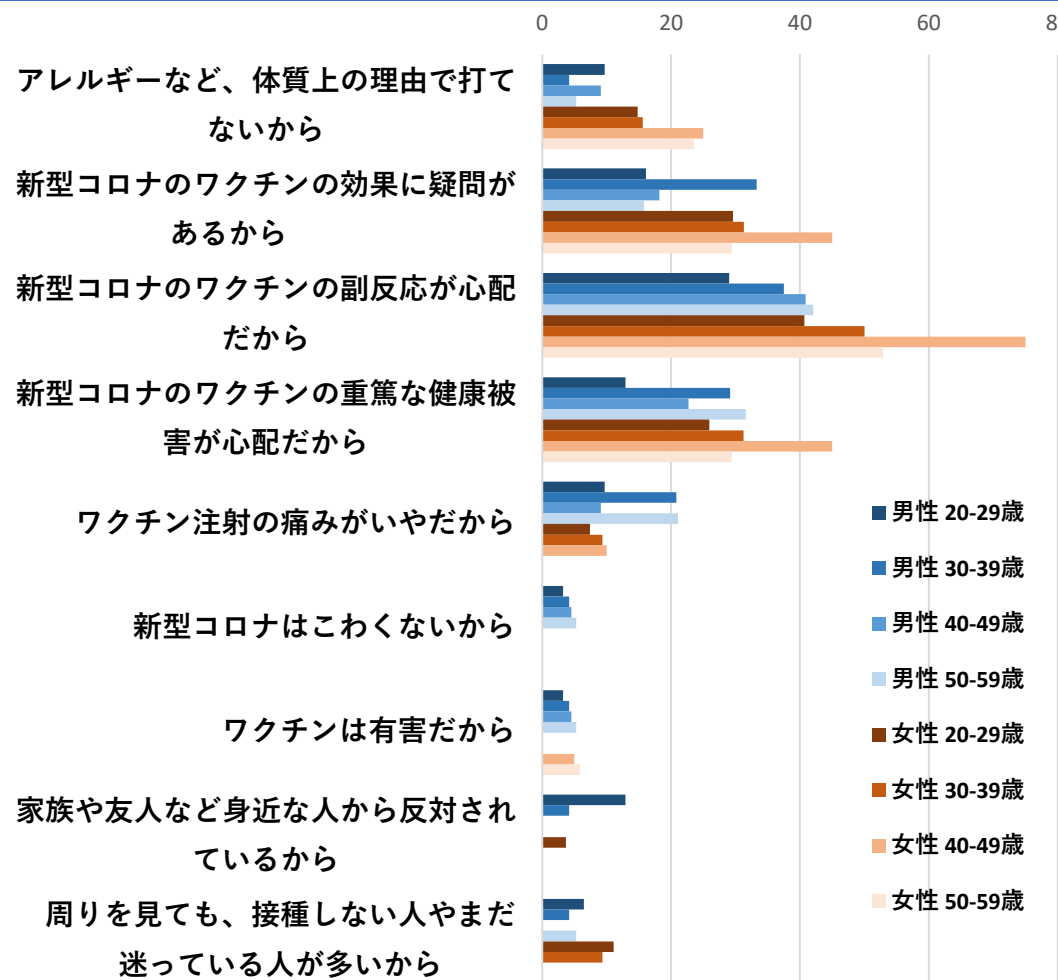


- ◆ ワクチンを「接種しない」「わからない」とする理由で最も多いのは「副反応が心配」。次いで「重篤な健康被害が心配」、「効果に疑問」、「アレルギーなど体質上の理由」が続いている。
- ◆ 「自分は重症化しないから」「注射の痛みがいや」「外出がめんどろ・時間がない」も10%程度選択されている。

## Q2 新型コロナワクチン：「接種しない」「わからない」→ その理由は何ですか（20-50代、男女別）

（あてはまるものをすべて）

(n=192)

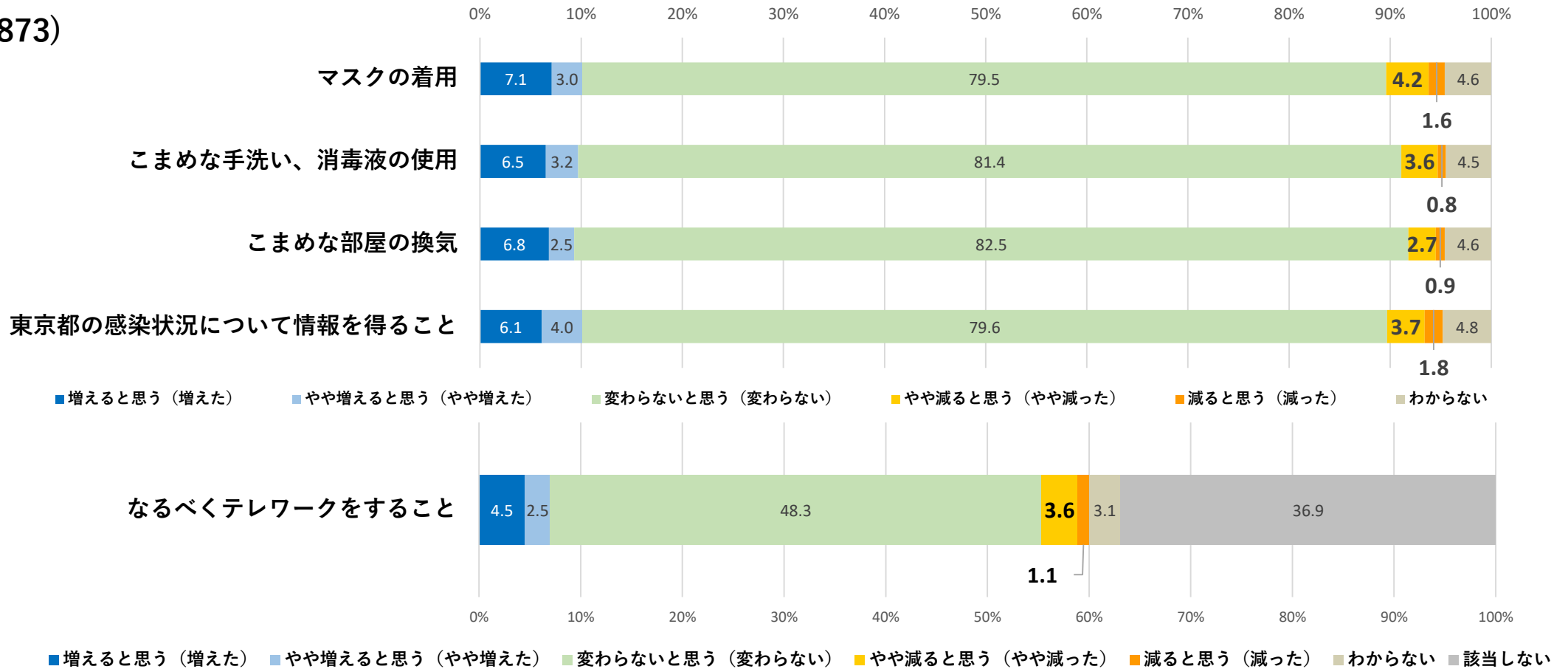


（単位 %）

- ◆ どの年代でも「副反応が心配」「重篤な健康被害が心配」「効果に疑問」は上位。年代があがるにつれて、また女性のほうがこれらを選ぶ傾向が高くなる。
- ◆ 「注射の痛みがいや」「手続きがめんどう・分からない」「外出がめんどう・時間がない」、また「自分は重症化しない」「新型コロナはこわくない」「ワクチンは有害」等を理由としてあげるのは、男性に多い。「自分は重症化しない」はとくに20代男性に多い。
- ◆ ワクチンの効果と副反応、新型コロナのリスクについての丁寧なコミュニケーションの継続とともに、参加しやすい時間や場所でワクチン接種会場を充実させる取り組みや、わかりやすい・予約しやすいしくみ等の整備も求められる。

### Q3 新型コロナワクチン：「接種した」「接種する」「わからない」 → 2回接種後のあなた自身の行動はどうなると思いますか（どうなりましたか）

(n=873)

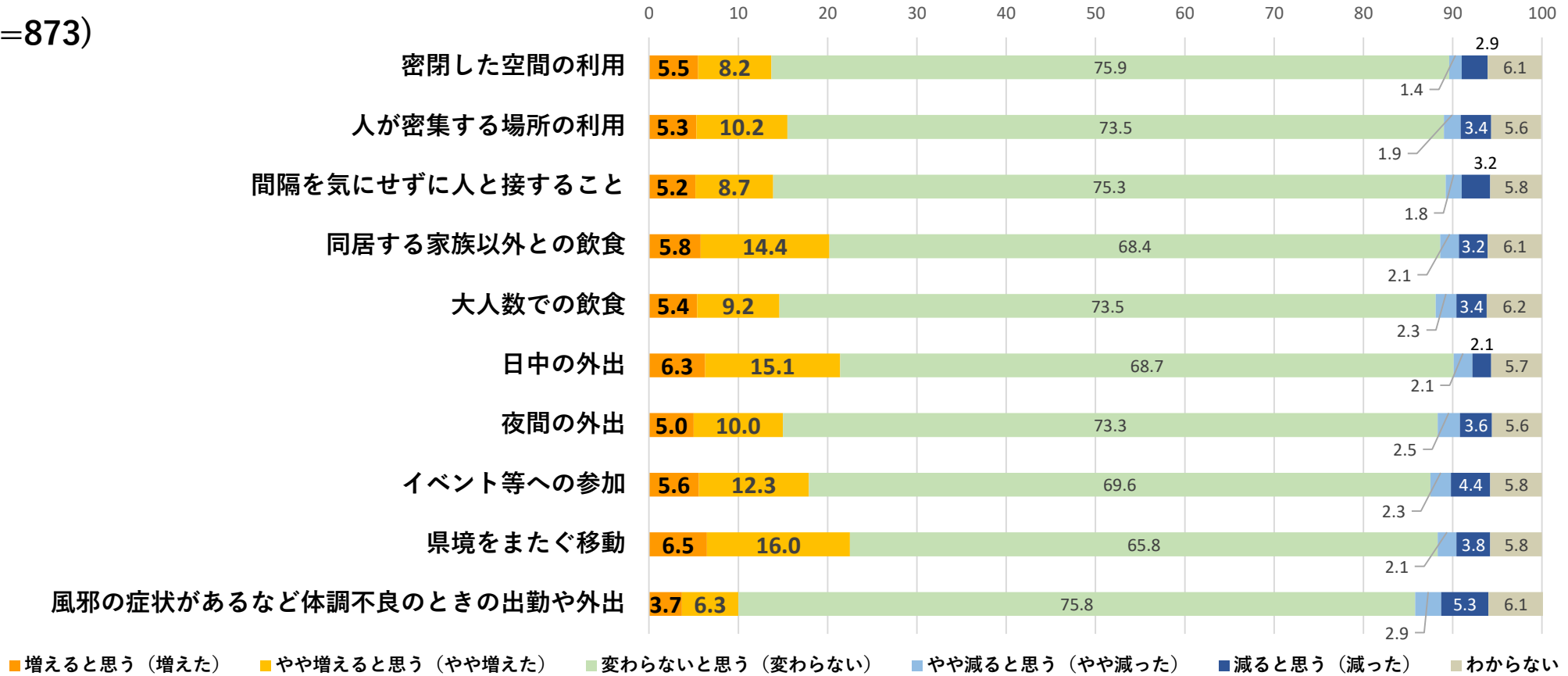


- ◆ 「マスク着用」「手指衛生」「換気」については、8割前後のひとがワクチン接種後の行動は「変わらない」とし、「減る」・「やや減る」の回答は5%程度となっている。
- ◆ 「テレワーク」について、該当者の約7%が「減る」・「やや減る」と回答している。

### Q3 新型コロナワクチン：「接種した」「接種する」「わからない」 → 2回接種後のあなた自身の行動はどうなると思いますか（どうなりましたか）

(n=873)

(単位 %)

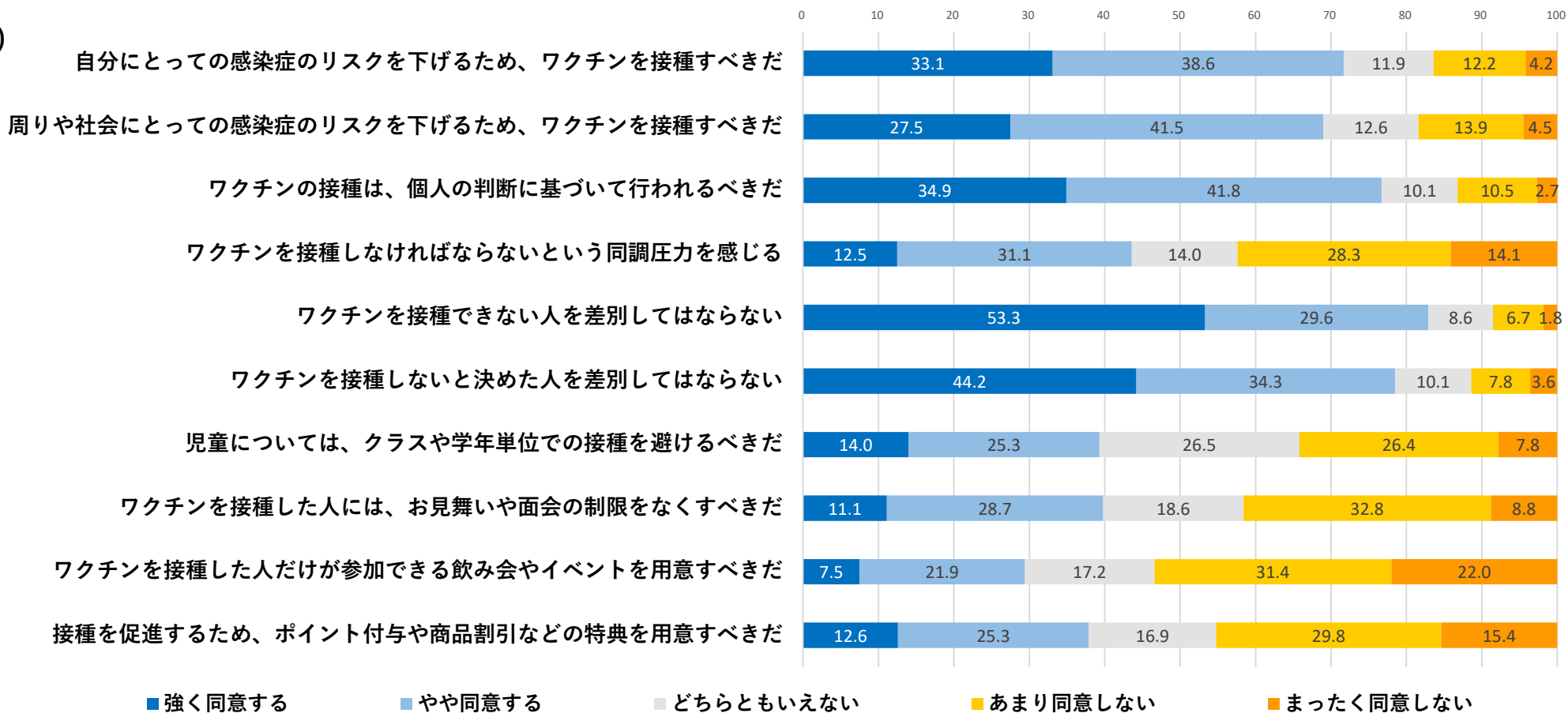


- ◆ どの項目についても、「変わらないと思う（変わらない）」との回答がもっとも多くなっている。
- ◆ 「増える」「やや増える」との回答も10～20%見られる。とくに「同居家族以外との飲食」、「日中の外出」、「県境またぎの外出」は「増える」「やや増える」とする割合が20%程度となっている。
- ◆ ワクチン接種は新型コロナウイルス感染症のリスクを軽減する効果が期待されている。しかし、感染性の強いデルタ株の影響によりブレークスルー感染（ワクチン接種後の感染）も発生しており、基本的な感染予防策を続けることの啓発が必要となる。

## Q4 新型コロナワクチンについて、あなたの考えに近いものをお選びください

(n=1,000)

(単位 %)

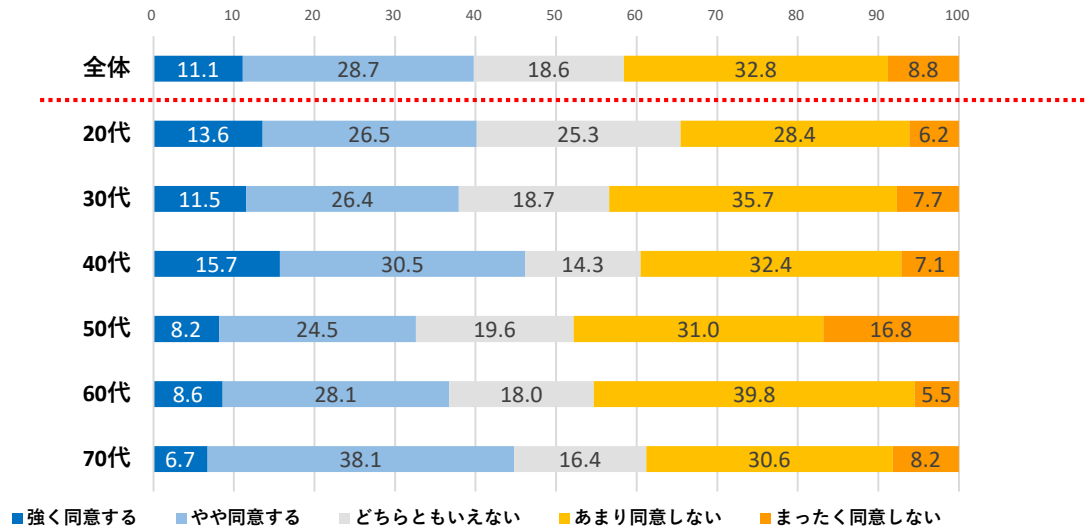


- ◆ 「自分や周り/社会にとってのリスクを下げるために接種すべき」に同意する人は70 %程度、「接種は個人の判断に基づくべき」「接種しない/できない人を差別してはいけない」と考える人は80 %程度みられる。
- ◆ ワクチン接種へのインセンティブについては、同意する・しないの意見が割れている。「接種した人だけが参加できる会の用意」に関しては「同意しない」が「同意する」を大きく上回っている。

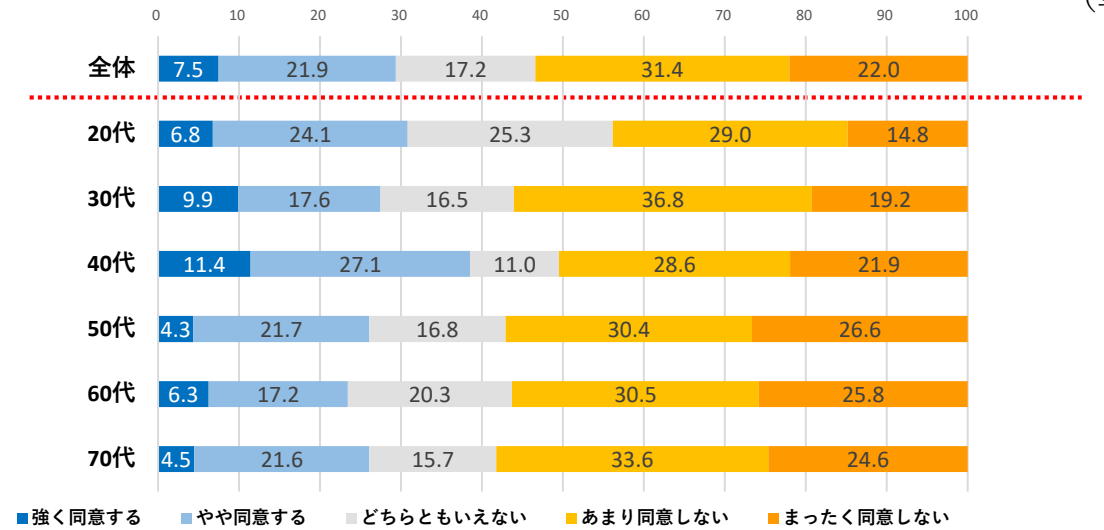
# 「Q4 新型コロナワクチンについての考え方（インセンティブ）」と「年代」との関係

(n=1,000)

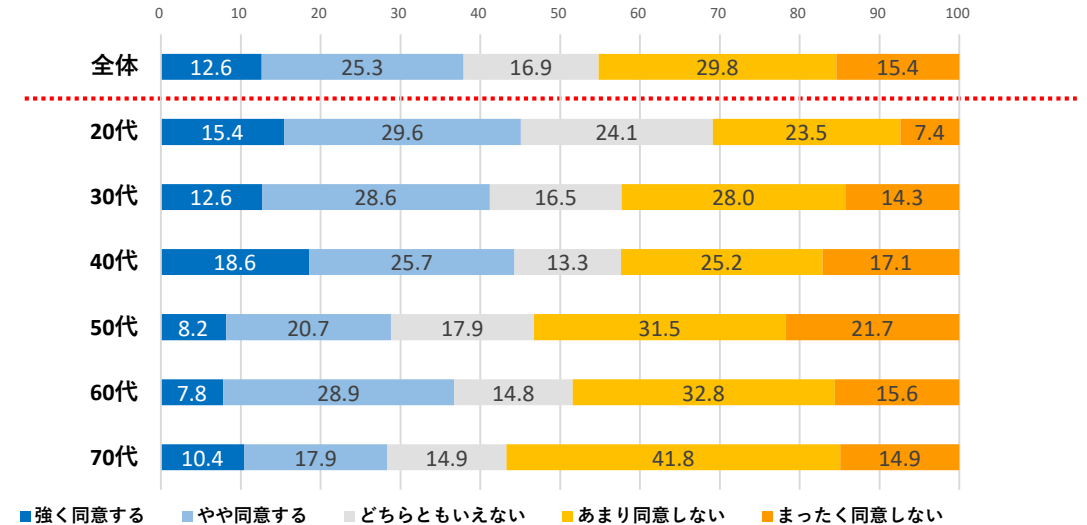
## ワクチンを接種した人には、お見舞いや面会の制限をなくすべきだ



## ワクチンを接種した人だけが参加できる飲み会やイベントを用意すべきだ (単位%)



## 接種を促進するため、ポイント付与や商品割引などの特典を用意すべきだ



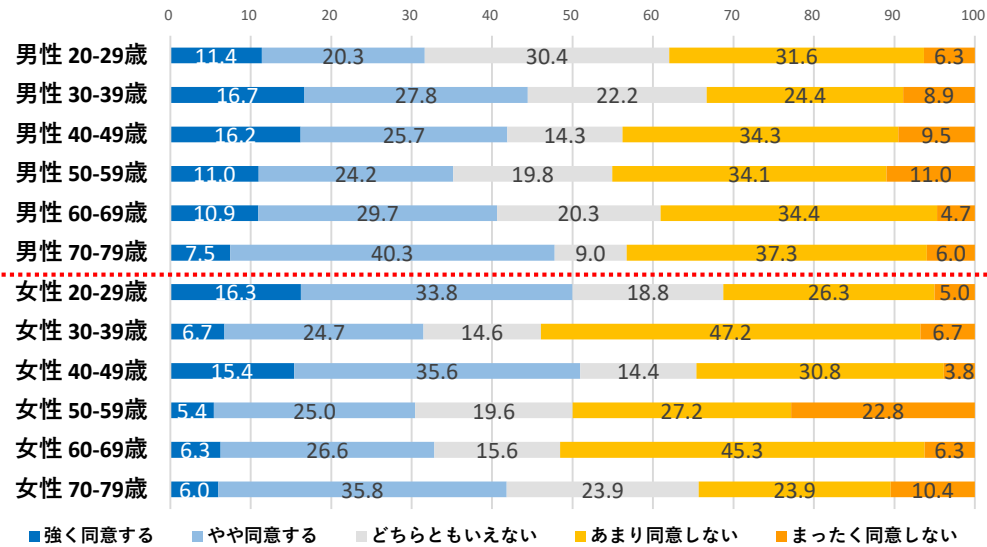
- ◆ 「お見舞い・面会制限をなくすべき」については年代による大きな差はみられず、賛成（「強く同意」＋「やや同意」）と反対（「あまり同意しない」＋「まったく同意しない」）が拮抗している。20代、40代と70代では賛成が反対をやや上回る。
- ◆ 「飲み会・イベントの用意」については、若い世代でも、反対する割合のほうが高い。40代は他の年代よりも賛成が多い。
- ◆ 「ポイントや割引特典」については、20-40代で他の年代に比べて賛成の割合が高くなっている。



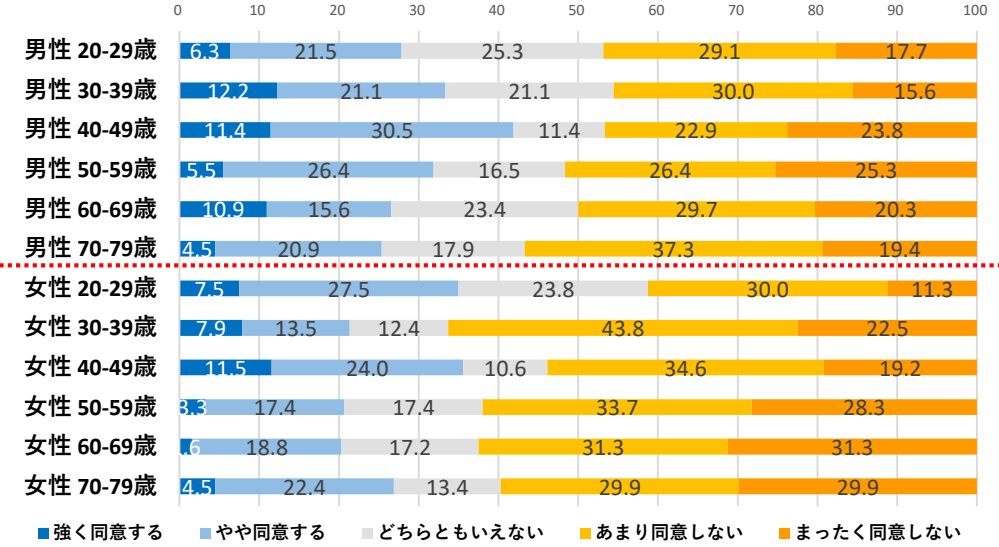
# 「Q4 新型コロナワクチンについての考え方（インセンティブ）」と「年代・性別」との関係

(n=1,000)

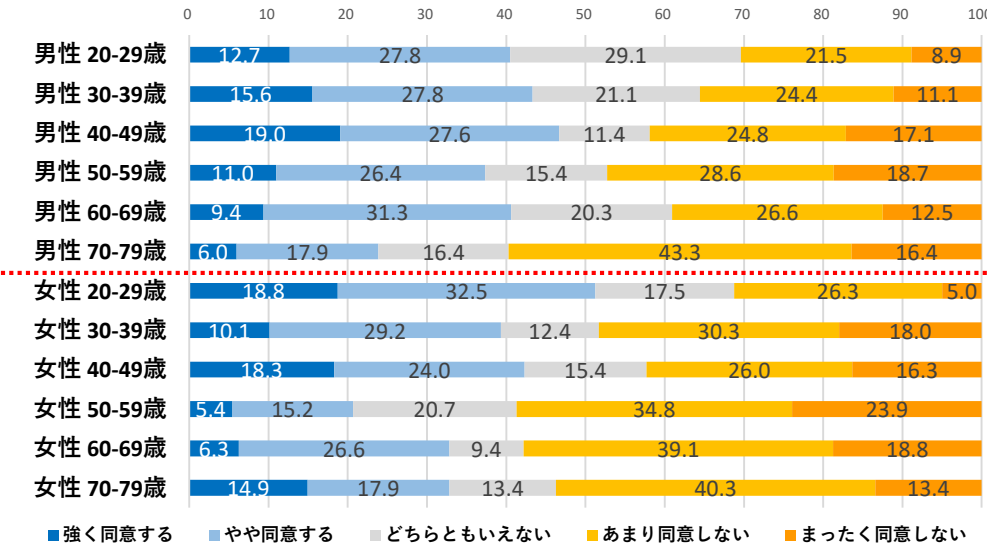
## ワクチンを接種した人には、お見舞いや面会の制限をなくすべきだ



## ワクチンを接種した人だけが参加できる飲み会やイベントを用意すべきだ (単位%)



## 接種を促進するため、ポイント付与や商品割引などの特典を用意すべきだ

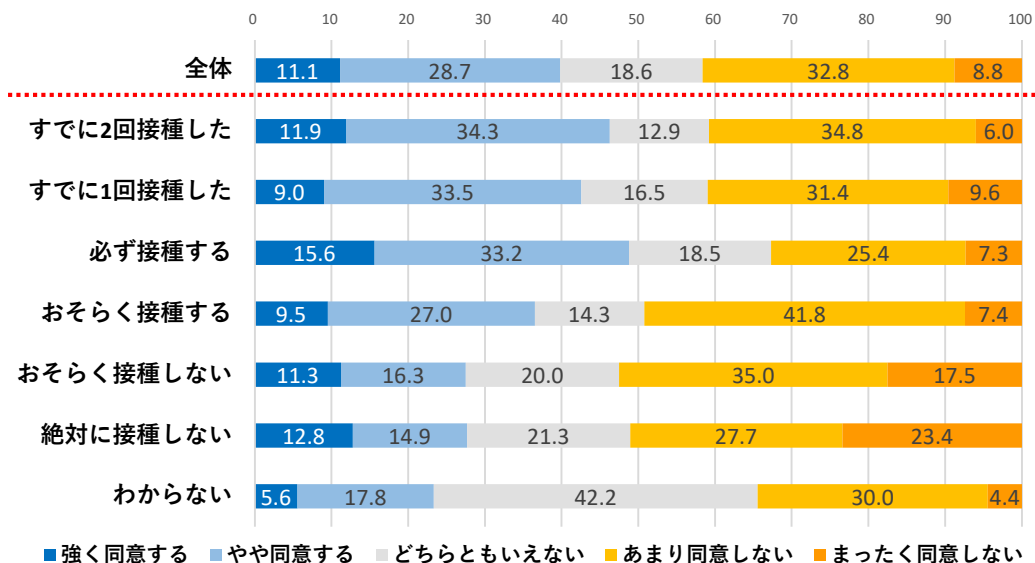


- ◆ 「お見舞い・面会制限をなくすべき」については20-40代で「強く同意」の割合が高い。とくに20代女性、40代女性で賛成（「強く同意」+「やや同意」）する人が多い。
- ◆ 「飲み会・イベントの用意」については、40代男性と40代女性で、また30代男性、20代女性でも賛成する人の割合が他の年代・性別に比べて高い。
- ◆ 「ポイントや割引特典」については、20-40代男女（とくに20代女性）で賛成の割合が他の年代・性別よりも高くなっている。

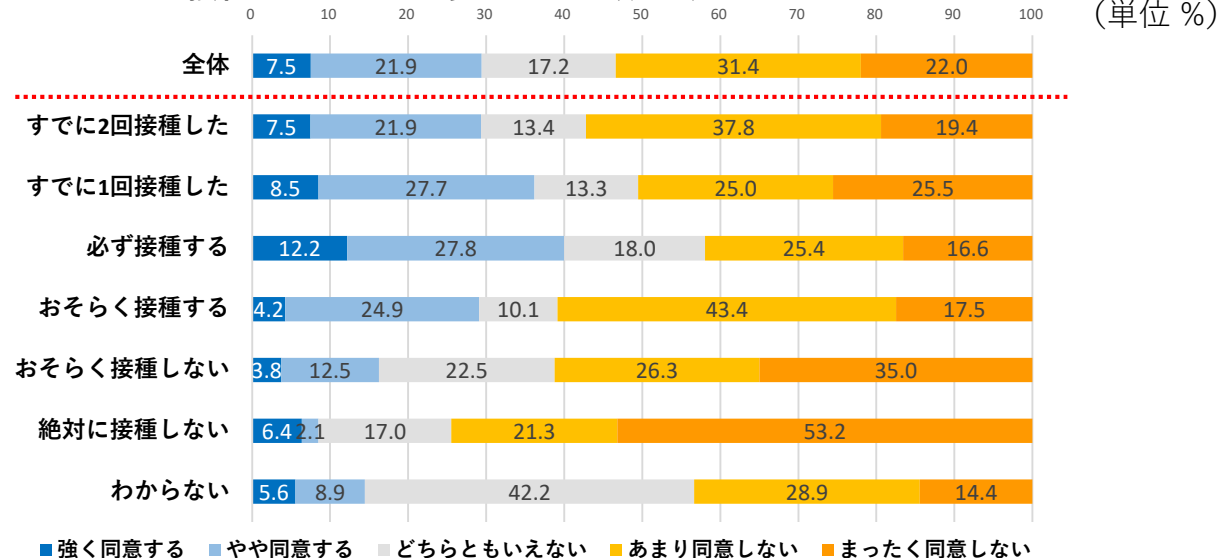
# 「Q4 ワクチン接種インセンティブについての考え方」と「接種意向」との関連

(n=1,000)

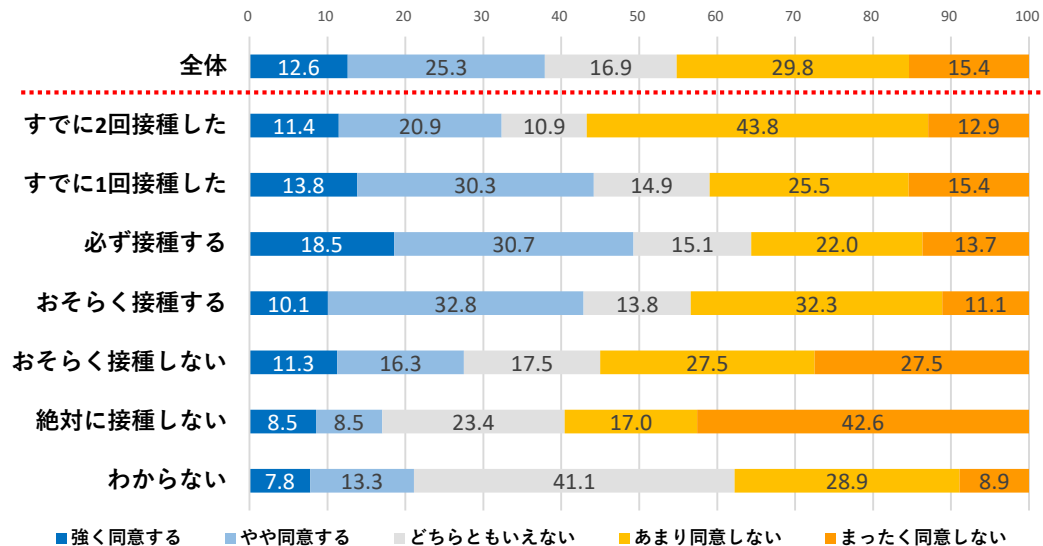
## ワクチンを接種した人には、お見舞いや面会の制限をなくすべきだ



## ワクチンを接種した人だけが参加できる飲み会やイベントを用意すべきだ (単位%)



## 接種を促進するため、ポイント付与や商品割引などの特典を用意すべきだ



◆ 「お見舞い・面会制限をなくすべき」については、接種済・必ず接種する人で、賛成割合が約40～50%と高い。

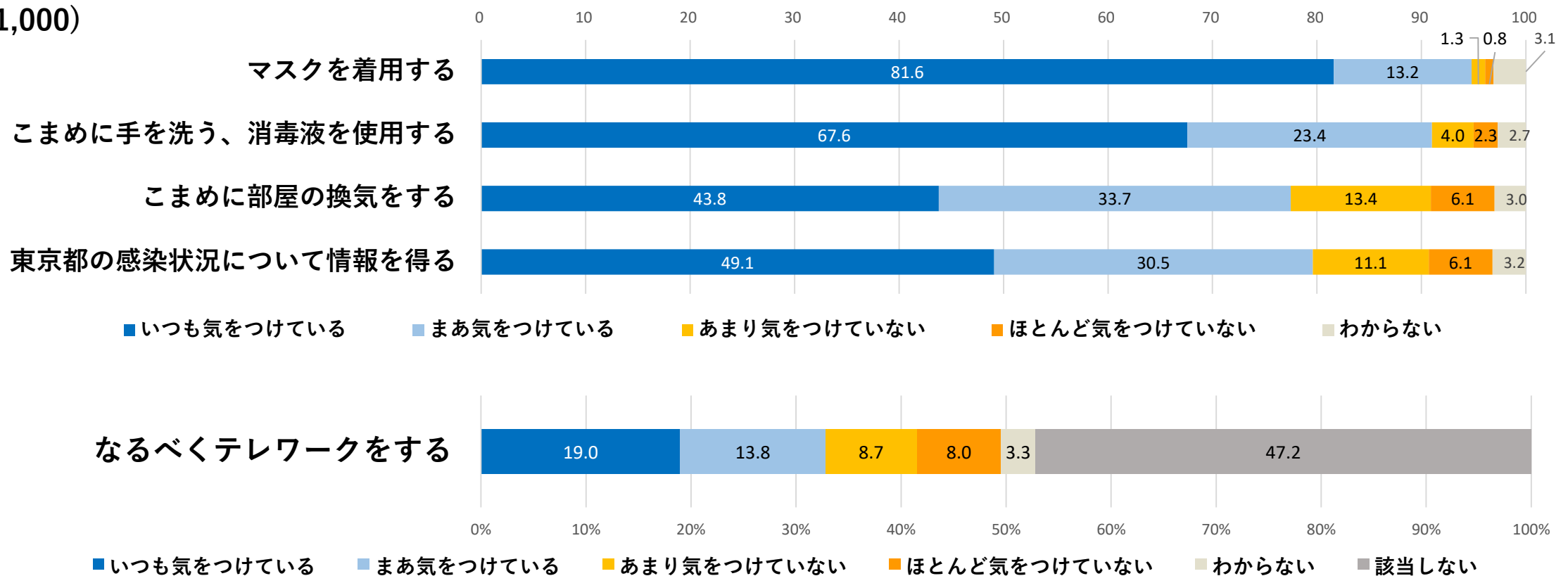
◆ 「絶対に/おそらく接種しない」と答えた人は、「飲み会・イベントの用意」「ポイントや割引特典」に反対する傾向がみられる。

- ◆ 受け入れやすいインセンティブとそうでないインセンティブがある。
- ◆ 排除されたり社会参加できないといった不利益をワクチン未接種者にもたらすようなインセンティブは、受け入れにくい。
- ◆ 誰かを排除することなく接種した人が利益を楽しめるものや、利益を他のひとと分かち合えるものについては、比較的、人々は受け入れやすい。

# Q5 新型コロナの対策について、現在のあなたにあてはまるものを、それぞれ1つ選んで下さい。

(n=1,000)

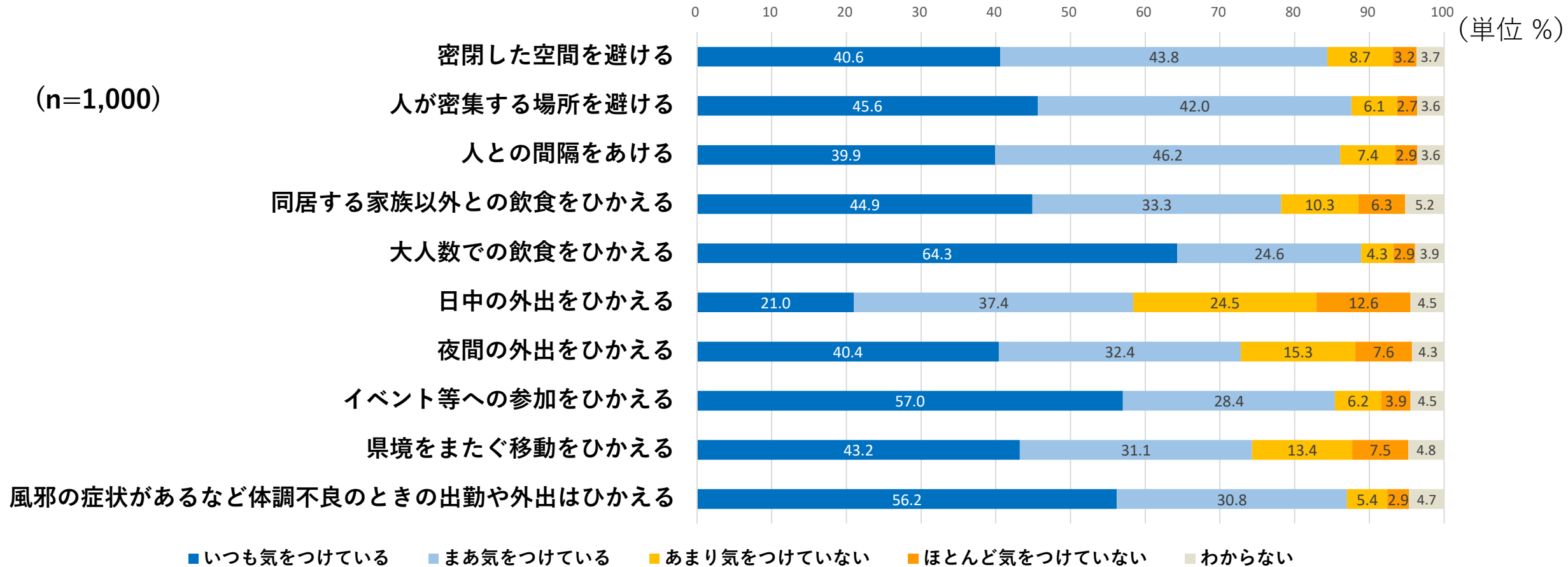
(単位 %)



- ◆ マスク着用、手指衛生について「いつも/まあ気をつけている」との割合は90-95%であり、多くのひとがこうした基本的な感染防止対策を続けていることが分かる。
- ◆ テレワークについては、該当者（「該当しない（テレワークができない仕事についている・現在仕事をしていない）」をのぞく）のうち、「いつも気をつけている」は約35%で、「まあ気をつけている」を合わせると60%程度となっている。

# Q5 新型コロナの対策について、現在のあなたにあてはまるものを、それぞれ1つ選んで下さい。

(n=1,000)



◆ 「密を避ける」、「大人数での食事をひかえる」、「体調不良時の外出をひかえる」といった項目では85 %程度の人が「いつも/まあ気をつけている」と回答している。それに比べると、「日中の外出をひかえる」、「夜間の外出をひかえる」、「県境またぎの移動をひかえる」の項目では気をつけている割合が60 %弱~75 %弱と少なくなっている。

◆ 現在は「緊急事態宣言中／爆発的な感染拡大中／医療体制逼迫中」。身を守る行動をとるよう警鐘をならす必要がある。